



くだものシリーズ① りんご

花にかわって、今号から「くだものシリーズ」をお送りいたします。あなたの好きなくだものが出るかどうか、楽しみにしていってください。トップバッターは果物の王様「りんご」です。

原産地は中央アジアのカザフスタン辺りだそう。明治時代に中国経由で我が国に伝来しました。近年、日本で生まれた「ふじ」を原種にして、品種改良が進み、今や、同種が世界的にも生産量が一番多いそうです。りんごは漢字で「林檎」と書きます。何故か、歌では「リン」をカナ表記が多いようです。

りんごを歌った歌には数々の名曲があります。

♪赤いリンゴに唇寄せて…並木路子
「リン」の唄「戦後最初のヒット曲」
♪リンゴの花びらが風に散ったよな…美空ひばり「リン」追分「セリフ入り」
♪りんごのふるさと 北国の果て…美空ひばり「津軽のふるさと」
♪おぼえているかい 故郷の空を…三橋美智也「リン」村から「ミッチー節」
♪りんごの花ほろろび…ロシア民謡「カチューシャ」歌声喫茶の定番

歌だけではなく、物語や歴史に残る「りんご物語」がたくさんあります。

- 『旧約聖書』でアダムとイブが食べた禁断の果実はりんご
- ニュートンが万有引力を発見したのは、木の枝から落ちたりんご
- スイス建国の父ウィリアムテルが射落とした少年の頭上のりんご
- 白雪姫が魔法使いのおばあさんに食べさせられたのは毒りんご
- 1980年代のテレビドラマの「ふぞろいの林檎たち」では、規格に当てはまらない落ちこぼれの若者たちを中井貴一、時任三郎、手塚理美、柳沢慎吾らが好演しました。主題歌はサザンオールスターズの「いとこのエリー」でした。

最後は、島崎藤村の抒情詩『初恋』で締めましょう。

「まだあげ初めし前髪の／林檎のもとに見えしとき／前にさしたる花櫛の／花ある君と思ひけり／やくしく白き手をのべて／林檎をわれにあたへしは／薄紅の秋の美に／人こひ初めしはじめなり」 (井)



編集後記

輝かしい新春をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。本年も、宜しくお願ひします。

新年冒頭のぶちらいふでは、リフシアの地域での活動とそれぞれの役割を紹介しました。これからますます高齢化が進み、「人間の尊厳」を守るサービスの質が大事になります。そのため、リフシアでは外部講師を招き、毎月接遇の研修を行っています。写真は、昨年の集合研修11月26日茅ヶ崎商工会議所に於いての一場面です。述べ100名近くのスタッフが、介護職に求められる接遇の大切さについて、五感を使って体感しました。

講師は、元全日空客室乗務員で、教育訓練などに従事され、介護現場での経験もある濱島しのぶ先生(株式会社しののこ代表)です。詳しい内容は次号(ぶちらいふ春号4月15日発行予定)の特集記事で紹介いたしますので、お楽しみに！皆さまからの投稿もお待ちしております。



らいい通信「ぶちらいふ」冬号 Vol.42
2016年1月15日(季刊発行)
編集/ぶちらいふ編集室
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103
発行/株式会社リフシア

新年あけましておめでとう！いぎくまます

株式会社リフシア社員一同



地域の皆さまに支えられ、私たちリフシアも無事に新しい年を迎えることができました。

まいを中心とするシステムとして「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。

年頭にあたり、その様な私たちの役割について、リフシアスタッフ3名の意見を、この季刊紙の特集で紹介させていただきます。本年も宜しくお願い致します。

とを厚く御礼申し上げます。今日、我が国の社会保障は、少子高齢化に伴う人口減少や財政の逼迫といった深刻な状況にあります。そうした中、急激に増加する高齢者を住

より専門性を発揮し、また、より地域の方々との連携を深めることでの皆さまの信頼に応えるサービス提供が重要と考えます。

株式会社リフシア 常務取締役 小嶋 達之

在宅介護を支える ケアマネジャー(介護支援専門員)の役割を考える



ケアプランリフシア浜之郷 介護支援専門員 福岡 照美

平成12年に始まった介護保険制度も16年が経とうとしています。介護とそれを取り巻く状況は、一昔前とは大きく変わってきました。新聞でも時々見かける「新オレンジプラン」「地域包括ケアシステム」など、病気や障害があっても住み慣れた地域で末永く暮らしていけるよう、さまざまな検討や、制度整備が行われています。また、地域でサポートする人たちの

横の繋がりや、連携が重要になっていきます。住み慣れた地域で暮らしが続きよう、前述の考えに基づいて各専門職が協働し、介護を必要とする方に必要な支援は何か、個々バラバラではなく同じ方向で支援する取り組みがトータルケアマネジメントの考えです。

たとえば、健康の事は看護師、リハビリの事は機能訓練士、食事の事は栄養士な

ど、それぞれが自分の役割の事だけを考えて要介護の方に関わっていたらとすれば、一体どうなるでしょうか。栄養士が病気の事を知らなければ、食べてはいけない食材を使うかもしれませんし、リハビリで歩くことが出来るようになった事を、他の支援者は知らないままであるかもしれません。そうなる、本場に必要ない支援が何なのか分からなく

なり、本来の暮らしから離れた生活になる恐れがあります。

支援が必要な方を中心に、看護師、機能訓練士、介護士、栄養士、介護支援専門員や地域の民生委員等が各自で収集した情報を共有し、話し合いの場で目標・方向性を全員が確認しながら実践することが、「その人らしい」暮らしにつながります。

私は在宅のケアマネジャーとして、トータルケアアシストを通じて様々な職種の方と連携して、皆様の暮らしをサポートをさせて頂きたいと考えています。

地域包括ケアアシストシステムを支えるサービス

在宅介護を支える看護職の役割を考える
期待される看護小規模多機能型居宅介護とは

リフシア神明 看護師 吉井 朋子



平成24年に始まった小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせた「複合型サービス」は、平成27年に「看護小規模多機能型居宅介護」と名称が変わりました。主治医の指示と適切な判断にもとづき、看護師がご自宅に訪問するの



吉井さんは、リフシア神明が加入する宮之前町内会の防災副部長を担当、町内活動にも積極的に参加。写真は、防災訓練で「レジ袋とラップを使用した応急処置」の指導を受けている様子。

護の方を24時間体制で支えることができます。また、小規模多機能型居宅介護に配置されたケアマネージャーが一元管理するので、従来ある在宅のケアマネージャーがプランを立て、別々に指定する事業所からサービス提供を受けるサービスと違い、

要介護度が高く、医療が必要な方にも柔軟なサービスが提供できるようになりました。

私の所属するリフシア神明も、平成28年3月から看護小規模多機能型として再出発します。急性期病院の在院日数の短縮化により、医療的ケアを必要としながら退院されてく

た、少子高齢化社会の中、

同居や老々介護という状況下で、様々な健康不安を抱えつつも、最期まで住み慣れた地域で、ご自宅で、自分らしく過ごしたいと願う高齢者も多いと思います。

普段利用している事業所から、《顔なじみの看護師》がやってきて、生活に必要な医療をサポートする事はもちろん、気軽に健康相談ができ、病気の予防にもつながる、そんな環境を作り、その方の暮らしやすい地域を背景に、関わる様々な専門職の方々と連携し、地域での安心・安寧な暮らしを支えるトータルケアに取り組みたいと思います。

地域共生ホーム全国セミナーに参加して 地域包括化ケアと 小規模多機能の役割を考える

リフシア松が丘
介護支援専門員 小出 晶子



平成12年に始まった地域共生ホーム全国セミナー

継続できるようスタッフが訪問したり、通ったり、泊まる場所でもあります。

は、2回目です（平成27年11月28・29日）。「誰もが安心して暮らせるまちづくり」をテーマに、家族や当事者を主体として構成され、広い分野から実践報告やパネルディスカッションを通して地域づくりの視点を学びました。

『顔なじみがいる安心の居場所』という点では、重い認知症の人が穏やかに過ごせたり、在宅介護を続けるご家族のセーフティーネットにもなっています。私はケアマネジャーとして、日頃からご家族や地域の医療機関、包括支援センター、民生委員さんをはじめ、地域

でも排除しないで包み込む事、赤ちゃんからお年寄りまでひとつ屋根の下で過ごし、だれもが支えたり支えられたりと始められた『居場所』作りの考えが根底にあります。

それぞれ『居場所』では、介護保険外の事も取り組まれていきます。

私が所属するリフシア松が丘の小規模多機能型居宅介護は、自宅で生活が

機関が休日には閉まっています。公の機関が休みには閉まっています。公の機関が休みには閉まっています。公の機関が休みには閉まっています。



浜須賀小学校の皆さんが体験学習でリフシア松が丘デイへ。リハビリスタッフ（作業療法士）が運動機器の説明中。

もありません。話を聞くだけでも気持ちが救われる人が必ずいると思うので、私たちをもっと上手に活用して欲しいと思います。一方的なサービス提供ではなく、地域の方を支援したり、地域の方に支えられたり、相互に影響し合える関係が地域包括ケアシステムを作るうえで大切だと思っております。高齢者（介護保険制度）だけではなく、子どもや障がい者など、同じ地域で生活する皆さんの生活課題を一緒に考えることで、支え合う地域の力も広がります。身近な地域の問題をそこで暮らすリフシア松が丘の皆さんと役割を担い、地域のマネジメントに積極的に取り組みたいと改めて思いました。

リフシアの地域での活動（2015年）



リフシア萩園では、定期的にミニバザーを開き、地域の方と交流しています。



隣接する柳島海岸の清掃を定期的に行っているのは、リフシア柳島の男性陣。



柳島福祉まつりで恒例の「柳島大漁船上げ唄」に酔いしれる女性陣。昔柳島に港があったことが民謡に歌い継がれています。



毎年お神輿がリフシア香川に立ち寄ってくれます。目の前で大迫力のお神輿を楽しんでいます。



浜降祭、香川諏訪神社の勇壮なお神輿



茅ヶ崎市と防災協定を結んでいます。スタッフは福祉避難所になる心構えて心肺蘇生の指導を受けています。



住民の一員として地域の防災訓練に積極的に参加するリフシア松林の皆さん。



地域の方々が少しずつリフシア松が丘を認識してもらえているのだと実感した一日でした。（夏祭り）



リフシア善行では、地域の皆さまに「認知症サポーター養成講座」を定期的に行っています。写真は11月27日の講座の様子。



12月6日「自治会館まつり」に個人作品・共同作品を展出了。 (リフシア香川)

10月25日「香川公民館まつり」には、ポップコーンとくじ引きで出店しました。地域の中学生ボランティア2名のお手伝いもあり大盛況でした。